

歴史書 通信

5

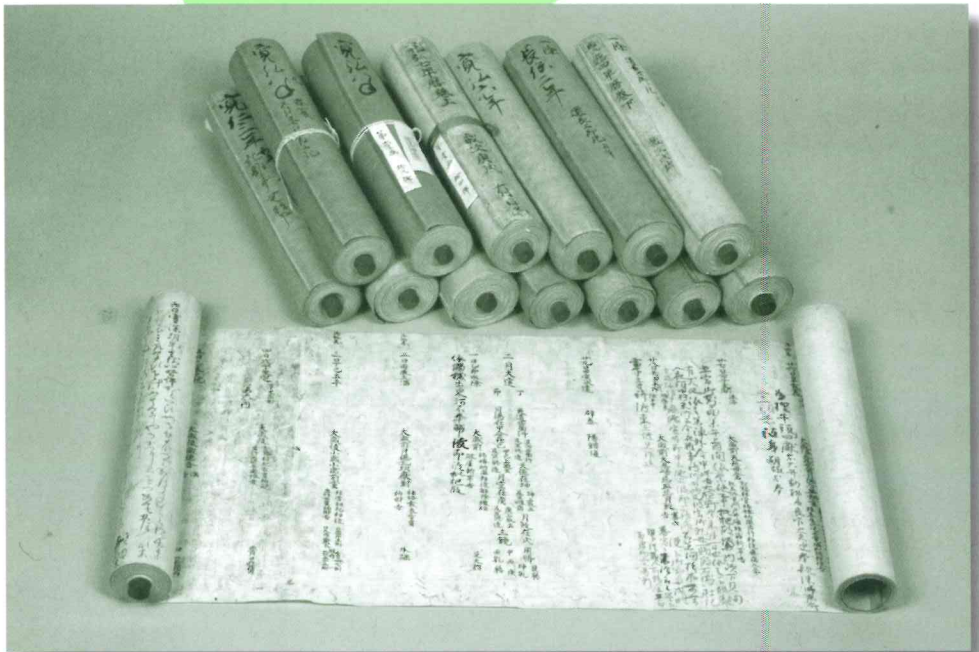
2017 No. 231

『御堂関白記』との長いつきあい [大津 透]

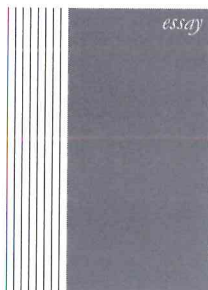
歴史書新刊ニュース (3・4月)

歴史書以外の人文社会図書新刊案内 (3・4月)

2017年歴史書ベストフェア出品/
参加書店一覧



歴史書懇話会



『御堂関白記』との長いつきあい

—藤原道長の実像に迫る—

大津 透

(東京大学文学部教授)

歴史学をふくめ、人文科学はつまるところ一人でする個人研究である。しかし多くのメンバーが集まることでしかできないこともあり、それは長い時間をかけて一つのことを追究するということである。歴史学でいえば、一つの史料を多くの視点から分析して読解することで、長い時間をかけて読み続けてようやくわかってくることがある。大学院などで同じ史料を読み続けるゼミがあるのはそのためだが、筆者の場合もっとも長くつきあっているのが『御堂関白記』であり、その著者の藤原道長である。

東京大学に入学し1、2年生では、史料編纂所の山中裕先生の「栄花物語講読」に出席していたのだが、文学部に進学した1981年に先生は定年になり、その秋に『御堂関白記』を読む「記録の会」が新たに始まった。この研究会が30年以上続いたのである。そのとき3年生の下っ端だったために以後ずっと雑用係となり、在外研究や海外招聘の期間を除けばほぼ毎回出席した。月1回、年10回としても300回ほど、『御堂関白記』を読み続けたことになる。

山中先生は、すでに以前から京都の平安博物館で『御堂関白記』集中講義をされていたので、それと重ならないように寛弘元年からはじめ、國學院や東大の院生・学生が担当して読解を進めていった。先生が歴史物語を専門とされるために、古代史と平安文学の研究をめざす若手が半々というめずらしい研究会だったが、先生の「御堂関白記は難しいですね」と仰って一緒に考える姿勢と飾らない温かな人柄に皆が惹かれて、長く続いたのである。結局「記録の会」では、寛弘元年から6年、および長徳・長保年間を読むことになった。

私的な研究会だったが、平安博物館での講義の成果が雑誌『古代文化』に掲載されていたこともあり、国書刊行会（のち高科書店）から山中裕編『御堂関白記全註釈』として出版しようという話がおこり、それが大きな転機となった。「記録の会」では担当してから10年くらいたったものを、研究会で再度発表して原稿を作成することになり、詳しくしっかりしたものになった。『全註釈』の最初の配本は1985年

であったが、そののち後半8冊の刊行を思文閣出版にお願いし、さらに2012年に寛弘6年の改訂版を刊行し、25年以上をかけて全16冊をなんとか完成することができた。後半の数冊は、原稿のとりまとめや調整にあたることとなり、ずいぶん勉強になった。

この期間は、ちょうど摂関期を中心とする平安時代の政治制度や財政、儀礼の研究が、飛躍的に進展した時期に重なる。ほとんどわからない制度も多かったのだが、ようやく古記録に描かれる朝廷の全体像がみえるようになった。そうした成果があったから『全註釈』も可能になったというか、ずいぶん進歩したと思う。筆者は講談社の日本の歴史シリーズで『道長と宮廷社会』を執筆したが、人物叢書（吉川弘文館）の倉本一宏『一条天皇』、山中裕『藤原道長』とあわせて、研究会の副産物といえるだろう。現在、研究会のメンバーで、『全註釈』の成果をまとめ直して道長の見た世界を事典の形で描こうと準備を進めている。

道長は、娘を天皇に入内させ、外戚になることで、天皇のうしろみとして政治を行ったというのが一般的なイメージだろう。しかし政治制度が明らかになると、後宮支配や権謀術数だけでなく、道長は太政官を中心に政務を行なっていることがわかってきた。かつてジュネーブ大学で『御堂関白記』の授業をしたとき、日本文学の先生か

ら大権力者の日記だということにこんなに細かいことばかり書いてあるのかと驚かれたことがある。『御堂関白記』には、陣定^{じんのだため}や陣申文^{もんしんぶん}、除目叙位などの政務の執行を中心に、事務的なことが書いてあるのである。

陣定というのは、左近衛陣で開かれる公卿の会議（定）であり、重要な議題のときに天皇の命で開催された。道長はこの陣定などの政務を熱心に指揮したのが特色である。摂関政治と言いながら、道長はほとんど摂政にも関白にもならず、^{いちのかみ}一上・左大臣に固執した。関白になれば陣定の報告を受ける側になるが、左大臣として自ら定に参加して発言したのである。とくに受領からの申請を審議する諸国申請雑事定や受領任期終了後の成績審査の受領功過定は、『御堂関白記』に多くみえていて、地方統治の重要性がうかがえる。さらに中納言以上の公卿は、分担してそれぞれ政務や儀式を行なった。それを上卿^{じょうけい}といい、諸司・諸国からの申請を^{せい}決済するのを政とか申文といい、また儀式を担当する行事上卿もあった。藤原実資・公任・行成・齊信・源俊賢など有能な公卿が輩出したこともこの時代の特色であり、道長は彼らを左大臣として統括したのである。こうした上級貴族の連合と分担の上に権力を築いたのが特色といえる。

道長は権力者だから、自分の思うように決められたように思われがちだが、三条天皇即位による新年号を決める元

号定では、実際は「寛仁」という年号がいいと主張したものの文章博士^{もんじょうはかせ}の勘申になかったために公卿の意見に従い諦め、日記には「長和」を決めたことだけを記している。また合議でできないのが人事で、道長は一条天皇の篤い信頼のもと、執筆^{しゆひつ}の大臣として毎年除目・叙位を行なった。人事権が権力の源泉であるのはいつの時代でも同じだが、しかしたとえ誰を受領に新任するかは、巡任といって特定の主要官職を務めた人が巡に五位となり任命される仕組みができていて、恣意的拔擢の余地はない。天皇と執筆の大臣が相談して決めて行くのだが、その場に公卿が参列していることは、その公平性を保証したのだろう。除目で一条天皇がある人を受領にしたいという意向を示したが、道長や諸卿が反対して保留となったことを『御堂関白記』に記しているのは興味深い。

歴史学を研究していると、政治や経済が重要だと思ってしまうが、道長の意義としては文化的な側面を忘れてはいけないだろう。出家して日記を終了したあとだが、道長による法成寺の造営と金堂供養は、『栄花物語』にも特筆される大行事であり、自邸での毎月の法華三十講などとあわせ、仏教史上大きな貢献をしている。また和歌や漢詩については、藤原公任や花山天皇には及ばないにしても、それなりに素養があった。みずから盛んに作文と

いう漢詩会を開催したほか、和歌を色紙形に記す倭絵屏風^{やまとえ}を政治的モニュメントとして作成することで、和歌の公的地位を高め、和泉式部など女房歌人も登用して、後宮や女性の世界に文化の基盤を拡大したのが特色である。池田尚隆氏の指摘によれば、『紫式部日記』が敦成親王（後一条天皇）誕生の様子を詳しく記すのは、道長が紫式部に記録の作成を依頼したと考えられ、『源氏物語』の創作や流布にも関わっていた可能性がある。代替わりの神事である大嘗会^{だいじようえ}についても、女御代^{じようごだい}という役を道長の娘がつとめたことにより、その行列が華麗なパフォーマンスになり、新たな文化を作った。

こうした文化事業は、『御堂関白記』に例外的に詳しく記すが、『栄花物語』も丁寧に描く。道長の死後すぐに仮名による『栄花物語』が作られたのは、作者に想定される赤染衛門など女房たちにとって大きな意味があり、道長の賛美だけではなく記録を残したかったのだろう。古記録の正確な理解が第一であるが、その上でどのように文学作品から道長の実像に迫れるかが、私たちに残された課題であろう。そしてそれが山中先生の学問的情熱を継承する道であると考えている。

〈表紙写真〉御堂関白記（陽明文庫所蔵）

新刊ニュース

3・4月の新刊 *発売予定のものもあります

歴史一般

事典／年表・地図／歴史学・補助学

古谷嘉章・関雄二・佐々木重洋編

「物質性」の人類学

世界は物質の流れの中にある

A 5判 250頁 5,000円

同成社 [3月刊]

物質性（物性・感覚性・存在論）という問題に考古学・文化人類学・美術史学の論客が正面から挑む。新たな視座を提供する刺激的な一書。

978-4-88621-755-4

金山喜昭著

博物館と地方再生

市民・自治体・企業・地域との連携

A 5判 228頁 2,400円

同成社 [3月刊]

指定管理者制度の下で変貌する博物館の全国的調査を実施。地域創生の鍵を博物館との連携に見出し、双方が「進化」する方向性を指し示す。

978-4-88621-756-1

考古学

概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

谷口康浩著

縄文時代の社会複雑化と儀礼祭祀

A 5判 330頁 6,500円

同成社 [3月刊]

親族集団による祖先祭祀と再葬制の社会的意味に着目し、多様な考古資料の分析から縄文後半期に顕在化した様々な文化変容の背景を考究する。

978-4-88621-757-8

設楽博己・石川岳彦著

弥生時代人物造形品の研究

B 5判 302頁 9,800円

同成社 [3月刊]

弥生時代の人物造形品を集成し、その特質や起源、分布状況などから当時の精神世界を考察。縄文や古墳文化との相違や継承等を論究する。

978-4-88621-758-5

城倉正祥著

デジタル技術でせまる人物埴輪

九十九里の古墳と出土遺物

B 5判 208頁 2,700円

吉川弘文館 [3月刊]

九十九里の殿塚・姫塚古墳で、全国屈指の人物埴輪が大量発掘されて60年。デジタル撮影・3D化し、美術的・考古学的価値を再発見。

978-4-642-08310-2

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

源川真希著

総力戦のなかの日本政治

(日本近代の歴史6)

四六判 272頁 2,800円

吉川弘文館 [3月刊]

日中戦争から敗戦に至る戦争の時代。翼賛体制・大東亜共栄圏は、いかに構築されたのか。社会構造の変容をふまえ総力戦体制に迫る。

978-4-642-06817-8

古田史学の会編

古代に真実を求めて(古田史学論集第二十集)

失われた倭国年号(大和朝廷以前)

A 5判 192頁 2,200円

明石書店 [3月刊]

『日本書紀』等に登場しない九州中心の王朝(倭国)が制定した独自の年号。九州王朝を継承した近江朝年号など倭国年号の最新の研究成果。

978-4-7503-4492-8

坂本亮太・末柄豊・村井祐樹編
高雄山神護寺文書集成

A 5判 630頁 12,500円 思文閣出版 [3月刊]

神護寺に伝来した中世文書について、同寺現蔵分のみならず、寺外流出分についても能う限り探索・収集を行い、総数496点を編年して配列。

978-4-7842-1883-7

小堀宗実著
新・小堀遠州の書状

B 5判 166頁 4,200円 思文閣出版 [4月刊]

その書状からは当時の高名な文化人や大名などとの広いネットワークがうかがえる。遠州茶道宗家十三世小堀宗実家元の解説により読み解く。

978-4-7842-1886-8

山田邦明・佐藤和彦・伊東和彦・角田朋彦・清水亮編
南北朝遺文 関東編 第7巻

A 5判 352頁 16,000円 東京堂出版 [4月刊]

全7巻完結。最終巻である本巻には、無年号文書・補遺を収録。巻末には、全7巻掲載文書の所蔵者別目録を付す。

978-4-490-30749-8

刑部芳則編
明治をつくった人びと

宮内庁三の丸尚蔵館所蔵写真

A 5判 372頁 3,400円 吉川弘文館 [4月刊]

明治天皇に献上された『明治十二年明治天皇御下命人物写真帖』。収録した皇族・軍人ら1000人を抜粋し、職・家格・爵位を掲載。

978-4-642-08306-5

十川陽一著
天皇側近たちの奈良時代

(歴史文化ライブラリー 447)

四六判 206頁 1,700円 吉川弘文館 [4月刊]

聖武天皇・光明皇后を中心とした人間関係などから側近の具体像に迫る。律令制の下で側近が果たした役割を探り、古代国家像を描く。

978-4-642-05847-6

中野渡俊治著
古代太上天皇の研究

A 5判 288頁 5,400円 思文閣出版 [3月刊]

奈良～平安時代にかけてを対象として、その地位の歴史的変遷を解明し、太上天皇が、皇位継承や天皇の正当性の問題に深く関わる様相を明かす。

978-4-7842-1887-5

義江明子著
日本古代女帝論

A 5判 392頁 11,000円 塙書房 [3月刊]

古代女帝の事蹟と意義、古代社会のジェンダー的特質と歴史的変容を考察し、中継ぎ論や巫女論とは異なる八代6人の女帝の実像を解明する。

978-4-8273-1290-4

大津透・池田尚隆編
藤原道長事典

御堂関白記からみる貴族社会

A 5判 430頁 6,000円 思文閣出版 [4月刊]

『御堂関白記全註釈』の成果をふまえ約1050項目を新たに書きおろし、11の大分類に整理。最新成果にもとづいた新たな平安貴族社会像を提示。

978-4-7842-1873-8

服藤早苗編著
平安朝の女性と政治文化

宮廷・生活・ジェンダー

四六判 312頁 2,500円 明石書店 [3月刊]

平安時代の女性は国家意思決定に関わる法的規定をほぼ持たなかったが、実際には政治権力に密着していた。平安朝の女性政治の実態を考察。

978-4-7503-4481-2

倉本一宏編
現代語訳 小右記 4

敦成親王誕生

四六判 320頁 2,800円 吉川弘文館 [4月刊]

一条天皇の中宮彰子は待望の皇子を相次いで出産するものの、天皇は崩御。三条天皇の代となり、実資と道長にも新たな時代が訪れる。

978-4-642-01819-7

鈴木正信著
日本古代の氏族と系譜伝承

A 5判 528頁 12,000円 吉川弘文館 [4月刊]

氏族の政治的地位の正統性を主張する役割を担った『円珍俗姓系図』や『海部氏系図』などの分析を通して、古代氏族の実態と諸相に迫る。

978-4-642-04636-7

野口 実著

列島を翔ける平安武士

九州・京都・東国（歴史文化ライブラリー 446）

四六判 208頁 1,700円

吉川弘文館 [3月刊]

中世前期の武士は土着イメージが強いが、実際は列島を広く移動した。様々な情報を得て果敢に活動の空間を広げた武士たちの姿に迫る。

978-4-642-05846-9

小西瑞恵著

日本中世の民衆・都市・農村

A 5判 422頁 8,500円

思文閣出版 [3月刊]

都市とそこに生きた民衆、武士、悪党、女性、そしてキリスト教徒の姿を再検討し、これまでの理解とは異なった中世の社会を甦らせる。

978-4-7842-1880-6

藤田達生著

城郭と由緒の戦争論

(歴史科学叢書)

A 5判 444頁 10,000円

校倉書房 [4月刊]

戦国期における変貌する戦争と変質する城郭の具体的なあり方を検討した。そして小牧・長久手の戦いを、天下分け目の戦いと規定した。

978-4-7517-4740-7

石井伸夫・仁木宏編

守護所・戦国城下町の構造と社会

阿波国勝瑞

A 5判 368頁 6,600円

思文閣出版 [3月刊]

ユニークな空間構造をもつ16世紀の地方都市・勝瑞の姿を、考古学、歴史学、地理学など多角的に解明し、中世都市史研究を大きく前進させる。

978-4-7842-1884-4

渡辺修著

神宮伝奏の研究

A 5判 440頁 6,500円

山川出版社 [3月刊]

中世、近世の朝廷における神宮上卿・神宮伝奏の体系的な研究。摂政・関白・武家伝奏・神宮奉行・官務・祭主による伊勢神宮行政についても解明。

978-4-634-52022-6

山崎久登著

江戸鷹場制度の研究

A 5判 218頁 8,000円

吉川弘文館 [3月刊]

近世中期以降、江戸や周辺地域に設定されたその実態を制度・機能・行政の面から追究。当該地域における役割を解明し、特質に迫る。

978-4-642-03477-7

岡村敬二著

江戸の蔵書家たち

(読みなおす日本史)

四六判 272頁 2,400円

吉川弘文館 [3月刊]

江戸時代中後期、多くの書物を収集する武士や町人が現れた。彼らの知的営為と目指したものを、遺された目録や解題、索引から探る。

978-4-642-06724-9

東京都写真美術館編

知られざる日本写真開拓史

菊 5判 296頁 2,000円

山川出版社 [3月刊]

幕末から明治初期の写真家たちが撮影した、日本の貴重な写真約400点をカラーで紹介する。初期の日本写真界の様子を知ることができる1冊。

978-4-634-15113-0

和崎光太郎著

明治の〈青年〉

立志・修養・煩悶

四六判 330頁 3,000円

ミネルヴァ書房 [3月刊]

近代日本が生んだモラトリアムの源流とは。明治期にどのように〈青年〉という概念が生まれ、変容していったかに迫る。

978-4-623-07905-6

赤澤史朗著

徳富蘇峰と大日本言論報国会

(日本史リブレット 98)

A 5変型 120頁 800円

山川出版社 [4月予定]

第二次世界大戦期、日本の思想戦の主体とされた大日本言論報国会。会長で論壇の大御所となった徳富蘇峰の姿とともに、思想戦論の行方を描く。

978-4-634-54710-0

天橋立世界遺産登録可能性検討委員会編

「天橋立学」への招待

"海の京都"の歴史と文化

A 5判 332頁 1,500円

法蔵館 [3月刊]

日本三景・京都天橋立。その文化的価値を、日本史学、地理学、文学、風景学などの幅広い分野の研究者が新視点から改めて考察した天橋立の歴史を知るための格好のガイドブック。978-4-8318-6236-5

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

小田中直樹・帆刈浩之編

世界史／いま、ここから

A 5判 352頁 2,300円

山川出版社 [4月刊]

人類の誕生から今日まで、岐路に立つ世界を読み解くための通史。時代の大きな流れと各地域の特徴を大きく捉え、世界史の構造を明らかにする。

978-4-634-64086-3

チャールズ・キング著／前田弘毅 監訳

黒海の歴史

ユーラシア地政学の要諦における文明世界

四六判 464頁 4,800円

明石書店 [4月刊]

有史以来、文明と野蛮の物語が交錯する舞台となってきた「黒海」。地政学上の要衝・環黒海地域の複雑なダイナミズムを描き出す。

978-4-7503-4474-4

土肥秀行・山手昌樹編著

教養のイタリア近現代史

A 5判 340頁 3,000円

ミネルヴァ書房 [4月刊]

リソルジメントにより統一され、ファシズムを経て、戦後イタリアに至る過程を、図版を多用し、明快に描写する。

978-4-623-08021-2

J. ダイナム著／大津留厚・小山啓子・石井大輔訳

ウィーンとヴェルサイユ

ヨーロッパにおけるライバル宮廷 1550～1780

A 5判 430頁 4,500円

刀水書房 [3月刊]

膨大な史料を駆使、人員・費用・宮廷生活・儀式等を比較、新たな宮廷像を描き出し、両国家の形成過程における宮廷の役割を照射。エリアスを超える「野心的研究」と評価。

978-4-88708-424-7

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教／教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

稲賀繁美編

海賊史観からみた世界史の再構築

交易と情報流通の現在を問直す

A 5判 852頁 14,000円

思文閣出版 [3月刊]

狭義の美術史、文化史、交易史のみならず、経済史、国際法、情報流通論などの知見も取り入れ、国際的視野から葛藤の現場を解明する。

978-4-7842-1881-3

手塚雄太著

近現代日本における政党支持基盤の形成と変容

「憲政常道」から「五十五年体制」へ

A 5判 344頁 7,000円

ミネルヴァ書房 [3月刊]

恐慌、戦争、高度成長……。激動の時代に政治家と支持者の何が変わり、何が引き継がれたのか、豊富な史料から検証。

978-4-623-07906-3

黒沢文貴・季武嘉也編著

日記で読む近現代日本政治史

A 5判 378頁 予価 3,500円 ミネルヴァ書房 [4月刊]

明治・大正・昭和の百年間における政治家、官僚、知識人たちの日記を取り上げ、その面白さと特徴を分かりやすく紹介する。

978-4-623-07854-7

稲葉伸道編

中世寺社と国家・地域・史料

A 5判 400頁 12,000円

法蔵館 [4月刊]

仏教が広くかつ深く浸透した中世における、国家と寺社、地域と寺社、寺社の組織と経営、史料と思想について、22名の執筆者が幅広く、実証的に論じた論文集。

978-4-8318-6245-7

栄原永遠男、佐藤信、吉川真司編

歴史のなかの東大寺

（東大寺の新研究2）

A 5判 746頁 17,000円

法蔵館 [4月刊]

2012年より開催されてきた「東大寺要録研究会」において報告された、古代・中世の奈良東大寺に関する最新研究をまとめた学術論集。第2巻は歴史学の成果を中心に収録。

978-4-8318-6022-4

勝山市編

白山平泉寺

よみがえる宗教都市

A 5判 270頁 1,500円

吉川弘文館 [4月刊]

泰澄による開山から一向一揆による全山焼亡まで。白山信仰や経済活動に迫り、世界の都市・城郭に匹敵する宗教都市の栄華を描く。

978-4-642-08316-4

齋藤秀彦編著

福澤諭吉の『世界国尽』で世界を学ぶ

七五調でうたっておぼえる世界の地理と歴史

B 5判 160頁 2,600円

ミネルヴァ書房 [4月刊]

福澤が世界の国々を楽しく学ぶために著した『世界国尽』。原書の絵図や七五調で語られる当時の「世界」と現在の「世界」を対比し解説。

978-4-623-07828-8

松蘭斎・近藤好和編著

中世日記の世界

A 5判 474頁 予価3,800円 ミネルヴァ書房 [4月刊]

有職故実を記録し、様々な記手に支えられてきた中世日記の広がりが見える、日本中世史をより深く知ろうとする人、必携の一冊。

978-4-623-07853-0

寺本敬子著

パリ万国博覧会とジャポニズムの誕生

A 5判 372頁 6,500円

思文閣出版 [4月刊]

日仏両国の史料を駆使し、開催国フランス、参加国日本、パリの観衆、三者の相互作用を通じてジャポニズムの誕生を解き明かす。

978-4-7842-1888-2

並木誠士・青木美保子編

京都 近代美術工芸のネットワーク

A 5判 352頁 2,500円

思文閣出版 [4月刊]

近代京都の美術工芸にまつわるヒト・モノ・コトのネットワークからアプローチ。ビックネームだけでは構築されない美術工芸の現場をあぶり出す。

978-4-7842-1882-0

大西磨希子

唐代仏教美術史論攷

仏教文化の伝播と日唐交流

A 5判 456頁 12,000円

法蔵館 [3月刊]

西方浄土変や當麻曼荼羅、奈良博藏刺繍釈迦如来說法図等の宗教美術としての本質や変遷の思想的背景を解明し、日中両国にまたがる仏教美術・文化の全体的輪郭を描き出す。

978-4-8318-6327-0

五十嵐公一・武田庸二郎・江口恒明著

朝廷権威の復興と京都画壇

江戸時代後期（天皇の美術史 5）

A 5判 244頁 3,500円

吉川弘文館 [3月刊]

天明の大火を契機に変化した朝廷と絵師の関係を、京都の絵師の活動から解明。御所障壁画制作の実態などから京都画壇の実像に迫る。

978-4-642-01735-0

高岸 輝・黒田 智著

乱世の王権と美術戦略

室町・戦国時代（天皇の美術史 3）

A 5判 254頁 3,500円

吉川弘文館 [4月刊]

南北朝～戦国の動乱期、天皇はいかに美術に関与し続けたか。生き残りをかけた王権の美術戦略は、強力なイメージの磁場を生み出した。

978-4-642-01733-6

上田純一編

京料理の文化史

四六判 352頁 2,300円

思文閣出版 [3月刊]

食と文学、フロイスがみた和食、精進料理、近世の料理屋、産物、宇治茶―和食、とくに京料理の形成を、文化的な側面からとらえる。

978-4-7842-1889-9

細川周平編著

日系文化を編み直す

歴史・文芸・接触

A 5判 456頁 8,000円

ミネルヴァ書房 [3月刊]

故郷とのつながりを求めるためか、あるいは新天地での拠りどころか。異郷において紡がれた文化のありようを問う。

978-4-623-07883-7

佐野静代著

中近世の生業と里湖の環境史

A 5判 346頁 9,500円

吉川弘文館 [3月刊]

「里湖」としての琵琶湖・淀川水系の環境史を展開。文書分析、地形復原や生態学的知見から、生態系の成立と変化のプロセスを論じる。

978-4-642-02936-0

伝記

平瀬直樹著

大内義弘

天命を牽り暴乱を討つ

四六判 256頁 3,000円

ミネルヴァ書房 [3月刊]

978-4-623-08029-8

なぜ反乱を起こしたか。領国の統治や一族の争いなどから、義弘の駆け抜けた時代に迫る。

西山由理花著

松田正久と政党政治の発展

原敬・星亨との連携と競合

A 5判 304頁 6,500円

ミネルヴァ書房 [3月刊]

978-4-623-07831-8

代表的「党人派」として草創期の日本の政党政治確立のために、星亨や原敬らとともに奔走したその実像とはいかなるものか。

貝塚茂樹著

天野貞祐

道理を信じ、道理に生きる

四六判 472頁 4,000円

ミネルヴァ書房 [4月刊]

978-4-623-08030-4

哲学者・教育者として知られる天野貞祐。「道理」の重要性を説き続け、時代に迎合せずに自らの信念を貫き通した生涯に迫る。

立元幸治著

鎌倉古寺霊園物語

時代を彩った文芸、映画、政治・外交の巨人たち

四六判 328頁 2,600円

明石書店 [3月刊]

978-4-7503-4493-5

鎌倉の名利・霊園に眠る縁の人物から、日本の近現代史を辿り直す探訪エッセイ。山本周五郎や高倉健、小津安二郎など著名な46人を巡る。

松本穂高著

歩いてわかった地球のなぜ!?

A 5判 232頁 1,800円

山川出版社 [4月刊]

978-4-634-15115-4

自然環境と人間生活のかかわり合いを科学的に考える「自然地理学」の視点から、豊富なカラー写真と図版を交えながらやさしくその疑問を解説。

地理

浅井建爾著

日本全国 合成地名の事典

四六判 288頁 2,000円

東京堂出版 [3月刊]

978-4-490-10889-7

複数の地名から文字の一部を取り、組み合わせて作った地名である「合成地名」。地名の文字に惑わされず、地域の歴史や文化を探るために必携。

金田章裕著

古地図からみた古代日本

土地制度と景観（読みなおす日本史）

四六判 246頁 2,200円

吉川弘文館 [4月刊]

978-4-642-06725-6

古代の地図を現在の地形と照合し、山川・地形・耕地・建物の形態と彩色を分析。文献史料を合わせて、景観と土地計画の実態に迫る。

雑誌

日本歴史

日本歴史学会編集

4月号（第827）＝3月刊
5月号（第828）＝4月刊

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料 8,300円〔税・送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い 16,000円〔税・送料込〕

三年間前払い 23,500円〔税・送料込〕

学生・院生 一年間 5,000円〔税・送料込〕

A5判 4月号＝130頁、5月号＝130頁
4月号＝741円、5月号＝741円

吉川弘文館〔3・4月刊〕

歴史書以外の 人文社会図書新刊案内

2017.3・4

明石書店

- 評伝 **キャバ** その生涯と「崩れ落ちる兵士」の真実 吉岡栄二郎著……………四六判 3,800円 3月
 宗教哲学論考 **ワイトゲンシュタイン・脳科学・シュッツ** 星川啓慈著……………四六判 3,200円 3月
 禅とことば **乖離と近接** 「這箇」への接点を求めて 信原修著……………四六判 3,000円 4月
 共同研究 **安重根と東洋平和** 東アジアの歴史をめぐる越境的対話 李洙任、重本直利著…A5判 5,000円 4月
 グローバル資本主義と〈放逐〉の論理 不可視化されゆく人々と空間 サスキア・サッセン著…四六判 3,800円 4月

思文閣出版

- 現代中国茶文化考 王静著……………A5判 5,500円 3月
 食材と調理 和食文化ブックレット® 大久保洋子・中澤弥子著……………A5判 900円 4月

東京堂出版

- MI6 対 KGB 英露インテリジェンス抗争秘史
 レム・クラシリニコフ著／佐藤優監訳／松澤一直訳……………四六判 3,000円 4月

埴書房

- 古代における表現の方法 岩田芳子著……………A5判 6,000円 3月
 日本語書記用文体の成立基盤 表記体から文体へ 乾 善彦著……………A5判 12,000円 3月

法藏館

- 暮らしの中に仏教を見つける 織田顕祐著……………四六判 1,000円 3月

歴史系学会・シンポジウム開催情報

第70回 美術史学会 全国大会

会期= 2017年5月19日(金)~21日(日) 会場=関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

◆問合せ(大会事務局) bijutsushi.taikai70@gmail.com ◆HP = 詳細あり

第67回 日本西洋史学会大会

会期= 2017年5月20日(土)~21日(日) 会場=一橋大学 国立西キャンパス

◆問合せ(大会準備委員会) sei Yoshigakkai67hitotsubashi@gmail.com ◆HP = 詳細あり

2017年度 歴史学研究会 大会 一境界領域をめぐる不条理一

会期= 2017年5月27日(土)~28日(日) 会場=学習院大学 目白キャンパス*

◆問合せ(同会事務局) 電話 03-3261-4985 ◆HP = 詳細あり

日本考古学協会 第83回(2017年度)総会

会期= 2017年5月27日(土)~28日(日) 会場=大正大学 西巣鴨キャンパス*

◆問合せ(大会事務局) 電話 03-3918-7311 ◆HP = 詳細あり

社会経済史学会 第86回(2017年度)全国大会

会期= 2017年5月27日(土)~28日(日) 会場=慶應義塾大学 三田キャンパス

◆問合せ(同会事務局) 電話 03-3200-4920 ◆HP = 詳細あり

日本文化人類学会 第51回研究大会

会期= 2017年5月27日(土)~28日(日) 会場=神戸大学 鶴甲第一キャンパス

◆問合せ=大会HP問合せフォームより ◆HP = 詳細あり

2017年 明治維新史学会 第47回大会

会期= 2017年6月3日(土)~4日(日) 会場=立教大学 池袋キャンパス

◆問合せ=大会運営委員長 岸本寛氏 kishimoto@rs.tottori-u.ac.jp ◆HP = 詳細あり

* 印の会場では、歴史書懇話会による出張書籍販売がございます。

2017年[歴史書]ベストフェア

▶出品/参加書店一覧◀

歴史から^{いま}現在を生き抜く教養を

明石書店

- スペインの歴史を知るための50章 立石博高・内村俊太編著……………2,000円
ドイツの歴史を知るための50章 森井裕一編……………2,000円
ロシアの歴史を知るための50章 下斗米伸夫編著……………2,000円
イギリスの歴史を知るための50章 川成 洋編著……………2,000円

思文閣出版

- 世界遺産と天皇陵古墳を問う 今尾文昭・高木博志編……………2,300円
変容する聖地 伊勢 ジョン・ブリーン編……………2,800円

東京堂出版

- くずし字解読辞典(普及版) 児玉幸多編……………2,200円
くずし字用例辞典(普及版) 児玉幸多編……………5,800円
日本史年表 増補5版 東京学芸大学日本史研究室編……………2,700円

刀水書房

- 妖獣バニヤップの歴史 藤川隆男著……………2,300円
直良信夫の世界 ー20世紀最後の博物学者ー 杉山 博久著……………2,500円

同成社

- 鳥浜貝塚 ー若狭に花開いた縄文の文化拠点ー 小島秀彰著……………1,700円
遺跡でたどる邪馬台国論争 中村俊介著……………1,900円
文明・自然・アジール ー女領主井伊直虎と遠江の歴史ー 夏目琢史著……………1,900円
六十の手習い 古文書を読む 山本光正著……………1,700円

塙書房

- 平家の群像 安田元久著……………900円
平家物語の虚構と真実 上 上横手雅敬著……………900円
平家物語の虚構と真実 下 上横手雅敬著……………900円
魔よけとまじない 中村義雄著……………900円

法 藏 館

善光寺の歴史と信仰	牛山佳幸著	2,500 円
近代仏教スタディーズ	大谷栄一・吉永進一・近藤俊太郎編	2,300 円
清沢満之と近代日本	山本伸裕・碧海寿広編	2,800 円
禅の歴史	伊吹 敦著	3,800 円

ミネルヴァ書房

新しく学ぶ西洋の歴史	南塚信吾責任編集	3,200 円
教養のための西洋史入門	中井義明著	2,500 円

山川出版社

もういちど読む山川日本史	五味文彦・鳥海 靖編	1,500 円
もういちど読む山川世界史	『世界の歴史』編集委員会編	1,500 円
もういちど読む山川日本近代史	鳥海 靖著	1,500 円
もういちど読む山川世界現代史	木谷 勤著	1,500 円

吉川弘文館

日本史を学ぶための古文書・古記録訓読法	日本史史料研究会監修／菊米一志著	1,700 円
大学でまなぶ日本の歴史	木村茂光・小山俊樹・戸部良一・深谷幸治編	1,900 円
ここまで変わった日本史教科書	高橋秀樹・三谷芳幸・村瀬信一著	1,800 円
はじめての古文書教室	林 英夫監修／天野清文・実松幸男著	2,400 円

2017年歴史書ベストフェア 参加書店一覧

2017年4月1日

北海道

千歳市 文教堂書店千歳店
苫前郡羽幌町 旭屋書店

岩手県

紫波郡紫波町 本のくずおか

宮城県

仙台市 宮城教育大学生協
購買書籍店

秋田県

秋田市 スーパーブックス
八橋店

山形県

天童市 TENDO 八文字屋
山形市 こまつ書店寿町本店
米沢市 こまつ書店堀川町店

福島県

会津若松市 西沢書店会津アピオ店
相馬市 文芸堂書店相馬店

茨城県

古河市 セキグチ書店

群馬県

桐生市 戸田書店桐生店
高崎市 戸田書店高崎店
沼田市 戸田書店沼田店
館林市 聞声堂書店

足利市 岩下書店
太田市 ブックマンズ
アカデミー太田店
吾妻郡中之条町 戸田書店中之条店

埼玉県

さいたま市 板山明文堂

千葉県

富里市 ゲオ富里店

東京都

渋谷区 代官山蔦屋書店
千代田区 三省堂書店神保町本店
三鷹市 啓文堂書店三鷹店
町田市 久美堂小田急店

神奈川県

茅ヶ崎市 長谷川書店
ネスパ茅ヶ崎店
横浜市 ブックファースト
モザイクモール港北店

新潟県

加茂市 番場堂書店
三条市 知遊堂三条店
上越市 戸田書店上越店

富山県

黒部市 山谷書店黒部店
高岡市 文苑堂書店新野村店
高岡市 文苑堂書店福田本店
富山市 文苑堂書店藤の木店

石川県

金沢市 金澤文苑堂示野本店
野々市市 うつのみや
金沢工大前店
野々市市 うつのみや野々市
上林店

山梨県

都留市 都留文科大学生協

長野県

伊那市 ニシザワ BOOKS &
CAFE いなっせ店
小諸市 竹澤書店野岸店
山形村 興文堂 i C I T Y
松本市 興文堂平田店
諏訪市 せいりん堂

岐阜県

瑞穂市 カルコス穂積店

静岡県

浜松市 安問書店

愛知県

小牧市 カルコス小牧店
名古屋市 泰文堂日比野本店

三重県

四日市市 宮脇書店
イオン四日市泊店
津市 青山書店

滋賀県

高島市 玉垣芳文堂
彦根市 太田書店

京都府

木津川市 宮脇書店木津川店
京都市 葵書房
京都市 葵書房洛西店

大阪府

大阪市 西坂書店
大阪市 ジュンク堂書店近鉄あべのハルカス店
大阪市 三栄書房

兵庫県

加古川市 宮脇書店加古川店
西宮市 千種書房
洲本市 宮脇書店洲本店
姫路市 黒田書店
姫路市 宮本書店

奈良県

大和郡山市 喜久屋書店大和郡山店
奈良市 豊住書店

奈良市 たつみ書店
サンタウン店
奈良市 啓林堂書店奈良店
奈良市 たけだ書店

和歌山県

橋本市 ツモリ西部店
田辺市 多屋孫書店

鳥取県

米子市 杉島書店

岡山県

岡山市 宮脇書店平島店
高梁市 開進堂書店高梁店
総社市 荒木書店

広島県

広島市 紀伊國屋書店広島店
世羅郡世羅町 ブックセンターアオイ
甲山店

徳島県

徳島市 井関書店

香川県

高松市 宮脇書店本店

愛媛県

松山市 新丸三書店本店

福岡県

北九州市 クエスト黒崎井筒屋店

長崎県

長崎市 メトロ書店本店

大分県

別府市 明林堂書店別府本店

宮崎県

都城市 田中書店妻ヶ丘本店
都城市 田中書店イオンモール都城駅前店

鹿児島県

鹿児島市 ジュンク堂書店鹿児島店

歴史書懇話会とは

〒 113-0033 東京都文京区本郷 7-2-8 吉川弘文館内

1968年6月に歴史書を刊行する有志出版社7社で結成され、現在11社が加盟しています。結成以来48年、「すぐれた歴史書の普及とその販売を積極的に推進する。本会はその目的達成のため、会員相互の協力によって必要な研究ならびに事業を行う。」(会規約)の精神に基づき活動しています。

〈歴史書懇話会〉の主な事業

◆「歴史書通信」(隔月刊)最新の歴史書情報を提供しています!

会員各社の新刊・重版情報、誌上フェア、書店情報を掲載する出版情報誌。歴史関連のエッセイなども掲載し、歴史知識の普及をはかっています。ご購入を希望される方は最寄の書店を通して、事務局までお申込み下さい。

◆「歴史書ベストフェア」小規模書店にも本格派の歴史書を!

全国約90書店で会員社の歴史書40冊余を1年間展示販売しています。選択セットを加え、最大規模は120冊のセットとなります。出品リスト及び販売店一覧は「歴史書通信」5月号に掲載します。

◆「歴史リバイバル」復刊書フェアとしてご好評いただいています。

統一復刊・重版事業「歴史リバイバル」を実施しています。一社では困難な専門書の復刊・重版を共同で行う活動です。読者から要望の多い名著や基本図書を復刊し、毎回100店近い書店・大学生協で店頭フェアを展開しています。

◆「ホームページ」&「メール通信」による情報発信

当会のホームページでは、新聞書評情報、歴史書の検索、書店フェアや各社の新刊案内、歴史書懇話会からメール通信を配信するメールアドレス登録の受付、「歴史書通信」PDF版などを掲載しています。

メール配信のお申込みは <http://www.hozokan.co.jp/rekikon/> からお願いします。

歴史書懇話会 会員社

明石書店・校倉書房・思文閣出版・東京堂出版・刀水書房
同成社・塙書房・法藏館・ミネルヴァ書房・山川出版社・吉川弘文館

歴史書懇話会ホームページ

<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>

歴史書懇話会会員社ホームページ

明石書店	http://www.akashi.co.jp/
校倉書房	http://www.azekurashobo.com/
思文閣出版	http://www.shibunkaku.co.jp/
東京堂出版	http://www.tokyodoshuppan.com/
刀水書房	http://www.tousuishobou.com/
同成社	http://homepage3.nifty.com/douseisha/
塙書房	http://rr2.hanawashobo.co.jp/
法藏館	http://www.hozokan.co.jp/
ミネルヴァ書房	http://www.minervashobo.co.jp/
山川出版社	https://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/

◆今年もまた全国 84 書店で、歴史書懇話会の売行き良好書をセットにした「歴史書ベストフェア」が始まっています（本誌 14～17 頁掲載）。井伊家菩提寺（龍潭寺）の写真が入ったシックな紫色の帯が目印です。「歴史から現在を生き抜く教養を」「未来へつなぐ、この一冊」が今年のキャッチコピー。読者の皆様を迎えて頂ける、そんな歴史書をお届けするのが私たち歴史書懇話会の役目です！

◆私たち歴史書懇話会は、月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ」の連続ミニフェアを次の 6 書店で開催中です（かっこの数字はフェア開始の日付）。◇天童市 TENDO 八文字屋（2006 年 7 月～）／◇新潟紀伊國屋書店新潟店（2007 年 8 月～）／◇松江市今井書店グループセンター店（2008 年 6 月～）／◇大阪市喜久屋書店阿倍野店（2013 年 11 月～）／◇出雲市今井書店出雲店（2014 年 7 月～）／◇名古屋市ジュンク堂書店ロフト名古屋店（2015 年 6 月～）。……お近くにお越しの折には、是非お訪ねください。

.....

◆手元に 1 冊のミニコミがあります。季刊『不戦』179 号（2017 年冬・春季号）。発行所は千葉県「不戦兵士・市民の会」。来年 1 月に創立 30 周年。会の目的は 3 つ「国際紛争の解決は戦争によらず、すべて平和的手段によることを主張する」「わが国の憲法 9 条の精神を遵守し、世界の平和を希求する」「市民による、市民のための、市民の国家体制に逆行するあらゆる思想、言動、政策に反対する」。この 3 つが実現出来るならば、誰もが安心して生きて行けます！ このミニコミの巻頭論文「トランプ大統領の誕生と世界」（萩原伸次郎）は、トランプの勝利を「米国における一種のファシズム運動の結果とっていいのかもしれない。かつて、大恐慌時に、中間層の没落をうまく利用し、彼らの心をつかんで、一気に独裁体制を築いたのが、ヒトラーだった。まさにトランプは、21 世紀米国のヒトラーといふべき性格を持っている……」（同誌 p.3）と解説しています。このミニコミを読みながら、こんなことを考えました。以前から扇動家として著名だった実業家トランプは、今、自分の署名一つで世界中を混乱に巻き込む力を持ってしまい、それがこの処の世界中の不安定の要因になっている。日本政府はそのトランプに追随するばかりではないか……と。あのヴァイツゼッカーの演説中の言葉を、改めて思い出します。「後になって過去を変えたり、起こらなかったことにするわけにはまいりません。しかし過去に目を閉ざす者は結局のところ現在にも盲目となります」（岩波ブックレット No.55、p.16）。この季刊『不戦』を支え続ける方々に送るエールとしても、私たちは、現在の世界を自分の目でしっかり見据えながら、過去を記録し歴史書を作り続けます。

(FN)

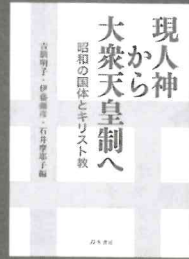
現人神

から

4月18日
発売

大衆天皇制へ

昭和の国体とキリスト教



吉野明子・伊藤彌彦・石井摩耶子共編

横田耕一・島菌進・吉野明子・石井摩耶子・
星野靖二・齋藤公太・豊川慎・遠藤興一・
渡辺祐子・伊藤彌彦・柳父園近・千葉眞
〔執筆順〕

宗教学・憲法学・政治学・歴史学・教育学・キリスト
教史学…多分野の研究者が、昭和期の戦前・戦中・
戦後の天皇制の諸側面を論じた共同研究5年間の
成果。象徴天皇制が大きな転機を迎えた「今」を
読み解く一助に
A5上製 三六〇頁 〃四、六〇〇

ウィーンと ヴェルサイユ

ヨーロッパにおける
ライバル宮廷1550〜1780



J・ダインダム著／大津留厚・小山啓子・石井大輔訳
宮廷の内部における権力関係を比較して国制を論じた意欲作。
エリアスを超える新しい宮廷研究が始まる
原著の膨大な注を刀水のHPで掲載

〔人間科学叢書46〕 A5上製 四三〇頁 〃四、五〇〇

移動がつくる東中欧・バルカン史

山本明代、バブ・ノルベルト共編

日本5名・ハンガリー5名の研究者（歴史学・地理学）が、こ
の地域の多面的で混雑的な文化が歴史的に形成・蓄積・変容し
た過程を、「人とモノ」の移動を通して形察。5年間の共同研
究の成果

A5上製 三六〇頁 〃六、四〇〇

近刊書から（5月～）

イタリアの 黒死病関係史料集

石坂尚武編訳 日本初の黒死病（ペスト）関係史料集（イタ
リア編）。中世末期（14世紀）近世の、年代記・日記・
書簡・死者台帳・遺言書等々多岐にわたる52点の翻訳と考
察。分析された新知見は必読！
A5箱 七〇〇頁 〃二四、〇〇〇

マルセイユの都市空間

深沢克己著 「世界史の鏡 都市6」 四六並製 二〇〇頁 〃二、〇〇〇
この港町の「他者性」言説を、二六〇〇年の歴史を織ぎ、
丹念に解明した暖かい眼差し
幻想と実存のあいだで

これが歴史だ！ 21世紀の 歴史学宣言

ジョー・ゲルデイ&D・アーミテージ／平田雅博・細川道久訳
「刀水歴史全書2」 四六上製 二〇〇頁 〃二、五〇〇

刀水書房

【価格は税抜】
〒101-0065 東京都千代田区西神田
2-4-1 東方学会本館

tel. 03-3261-6190 fax. 03-3261-2234
http://www.tousuishobou.com

ジャポニスムと近代の日本

東田雅博著 幕末・明治期にみられたジャポニスムという日本ブームを、現在のクールジャパンに通じる現象としてとらえ、日本と世界の文化的交流を考える。 A5判 136頁 本体1500円

知られざる

東京都写真美術館編

日本写真開拓史

菊5判 296頁 本体2000円

幕末から明治初期の写真家たちが撮影した人物・風景・風俗など、約350点の貴重な写真をカラーで紹介。当時の写真家のプロフィールや初期日本写真界の様子を知ることができる資料を多数収載した。

土偶のリアル

発見・発掘から蒐集・国宝誕生まで



現在発見されている土偶は、二万体を数える。縄文人の精神性を体現する存在であり、同時に日本最古の美術としてその見所は尽きない。土偶の謎と不思議に、カラー図版を紹介しながら迫る。 四六判 200頁 本体1500円

レンズが握らえた

オックスフォード大学所蔵 幕末明治の日本

フィリップ・グロウヴァー著／三井圭司 監修
オックスフォード大学ピットリバーズ博物館が所蔵する、幕末から明治にかけて日本で撮られた貴重な写真約300点を大学の全面協力を得て世界に先駆けて日本で初公開する。

菊5判 208頁 本体1600円



世界史リブレット人 A5変型判 各本体800円

③ **ネブカドネザル2世** 山田重郎著

—バビロンの再建者— 聖書や西洋古典で頻繁に登場する古代の王の実像に、同時代史料を重視して迫る。

④⑧ **コルテスとピサロ** 安村直己著

—遍歴と定住のはざまで生きた征服者—
なぜ、アステカ王国とインカ帝国は短期間のうちに征服されたのか。征服者に焦点を合わせながら答えを探る。

⑤⑤ **フリードリヒ大王**

—祖國と寛容— 屋敷二郎著
フリードリヒの生涯から、啓蒙とは何か、プロイセン国家とは何だったのかを考える。



⑨⑧ **徳富蘇峰と大日本言論報国会** 赤澤史朗著

—4月発売—
日本の思想戦の主体とされた大日本言論報国会と、会長で論壇の大御所となつた徳富蘇峰の姿とともに、思想戦論の行き着く先を描く。 A5変型判 本体800円

山川出版社

東京都千代田区内神田 1-13-13
電話 03-3293-8131 <https://www.yamakawa.co.jp/>

[価格は税別]

撰関政治最盛期の「賢人右府」藤原実資が綴った日記を待望の現代語訳化！ 倉本一宏編

現代語訳 小右記 全16巻 刊行中

道長・一条天皇・紫式部らと関わりながら政務に携わる姿や、公卿たちへの批判、我が子への愛情など、一個人としての心情も垣間見えて貴重。用語解説などを付す。【内容案内】送呈



④敦成親王誕生 寛弘二年四月、一条天皇の中宮彰子は待望の皇子を相次いで出産するものの、天皇に残された時間は少なかった。定子所生の敦康親王ではなく敦成親王を東宮に立てて崩御。三条天皇の代となり、実資と道長にも新たな時代が訪れる。 2800円

【既刊】①三代の蔵人頭(貞元二年三月/永延二年十二月) / ②道長政権の成立(永祚元年正月/長徳元年十月) / ③長徳の変(長徳二年正月/寛弘二年三月) 各2800円

デジタル技術でせまる 人物埴輪

九十九里の古墳と出土遺物 城倉正祥著 2700円

千葉県九十九里の殿塚・姫塚古墳で、大きさと美しさにおいて全国屈指の人物埴輪が大量発掘されて六〇年。壮麗な人物埴輪をデジタル撮影・3D化し、美術的・考古学的価値を再発見。新たな魅力に迫るビジュアルブック。

天皇側近たちの 奈良時代

(歴史文化 ライブラリー47) 十川陽一著 1700円

古代における天皇側近とは、いかなる存在なのか。聖武天皇・光明皇后を中心とした人間関係や、内臣をはじめとする側近たちの活動から具体像に迫る。天皇家と律令制の下で側近が果たした役割を探り、古代国家像を描く。

天皇の美術史

全6巻 刊行中 各3500円

編集 五十嵐公一・伊藤大輔
企画委員 堀谷 純・高岸 輝
野口 剛増記隆介

- 【内容案内】送呈
- ①乱世の王権と美術戦略 室町・戦国時代 高岸 輝著 黒田 智著
- ②治天のまなざし、王朝美の再構築 鎌倉・南北朝時代 伊藤大輔・加須屋 誠著
- ③朝廷権威の復興と京都画壇 江戸時代後期 五十嵐公一・武田庸一郎・江口恒明著

白山平泉寺

よみがえる宗教都市 勝山市編 1500円

霊峰をはるかに望み、昔むす境内が広がる白山平泉寺。一三〇〇年前に開かれ、戦国時代に巨大都市に発展。石垣や岩など石造りの施設に守られて一向一揆と対峙した。白山信仰や経済活動に迫り、世界の都市・城郭に匹敵する宗教都市の栄華を明らかにする。

古地図からみた古代日本

金田章裕著 土地制度と景観 (読みなおす日本史 22000円)

日本は世界でも希有な古代の地図が多く伝存する。それらを現在の地形と照合し、山川・地形・耕地・建物の形態と彩色を分析。文献史料を合わせたいかなる意図で描かれているのかを探り、景観と土地計画の実態に迫る。

歴史書懇話会

▶ 会員社名簿 ◀

- 明石書店 101-0021 千代田区外神田 6-9-5 〈担当者：深谷直樹〉
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1174
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田 1-1-3 〈担当者：石田 亘〉
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 思文閣出版 605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入元町 355 〈担当者：井熊勇介〉
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町 1-17 〈担当者：鈴木 淳〉
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田 2-4-1 〈担当者：中村文江〉
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋 4-4-8 〈担当者：榎 祐典〉
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷 6-8-16 〈担当者：関口守俊〉
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 〈担当者：西村明高〉
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 [本 社] 607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町 1
TEL. 075-581-0296 FAX. 075-581-0589
[東京支社] 101-0052 千代田区神田小川町 2-4-17 大宮第1ビル 6F
TEL. 03-3296-1615 FAX. 03-3296-1620 〈担当者：須藤 圭〉
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田 1-13-13 〈担当者：菊池敏彦〉
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷 7-2-8 〈担当者：春山晃宏〉
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2017年5月1日発行・第231号

発行 **歴史書懇話会**

113-0033 文京区本郷 7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店